

1. スペインの魚介缶詰・びん詰産業：歴史と特徴

スペインでは古くから魚介類の塩漬け加工品が保存食品として作られていました。

中でもリアス海岸で知られる北部のガリシア地方では、18 世紀にスペインの他の地方から移住したイワシ商人が新しい塩漬け技法をもたらしたことを端緒に、沿岸地域で魚介の塩漬け加工品の製造が始まり、1880 年代にはこれらが缶詰の形で出荷されるようになりました。

ガリシア地方に沿岸地域は昔から海との関係が深く漁業が盛んな土地柄でもあるため、多種多様な魚介類を原料としてスペイン随一の水産加工品産業地域として発展しました。

ガリシア地方では、多種多様な魚介類と様々な調味液を用いた缶詰・びん詰製品がバラエティに富んだ商品形態で提供されていますが、中でも特筆すべきはツナ缶の生産です。また、代々受け継がれてきた伝統の賜物ともいえる各社独自の個性あるマリネ液その他の調味液に漬けたムール貝製品も注目に値します。伝統的に貝類商品の主軸はアサリ、カキでしたが、1946 年、ガリシア地方でイカダを使ったムール貝の養殖が成功し、これを契機に増え続ける隣国でのムール貝需要に応えることが可能になり、貝類の缶詰製造は軌道に乗りました。

その他、イワシ、アジ、サバなどの魚の缶詰、イカ、タコ、小イカなど頭足類の加工品も大変優れています。

現在、ガリシアには中小企業から大企業まで多くの缶詰・びん詰企業があり、生産量、売上高、輸出額、雇用の創出いずれにおいてもスペイン全体の経済活動に大きく寄与しています。

多くの海外市場でガリシア産の魚介缶詰・びん詰の品質の高さが認められ、何十年も前から盛んに海外輸出が行われています。

スペインの魚介缶詰・びん詰製品のおよそ 85%はガリシア州で生産されています。また同州は EU でも第 1 位、世界ではタイに次いで第 2 位の生産地です。

魚介類の保存食品の製造が盛んな地域は他にもあります。

カンタブリア海沿岸地域はオリーブオイルや塩に漬けたアンチョビの非加熱保存食品の有名な産地です。これはイタリアから多くのアンチョビ塩漬け職人が移住し、アンチョビ製品の重要な生産拠点を作り上げたことに因ります。またバスク地方でも同じようにアンチョビ製品が多く生産されている他、ホワイトツナ(ビンナガマグロ)缶詰に代表される伝統的な製品の製造が盛んです。

一方スペイン南部の沿岸地域、アンダルシア地方の缶詰・びん詰産業の缶詰産業の歴史は、北部の沿岸地域よりも少し遅れて始まりました。この地方のカディスやウエルバでは伝統的な定置網を用いたマグロ漁が盛んで、このマグロを原料にした缶詰が多く作られています。また、マサバやソウダガツオの缶詰の主要産地でもあります。

スペインの魚介缶詰・びん詰産業は、1880 年頃の初期形成期から現在まで、興隆、拡大、衰退を経て回復期に至る様々な段階をたどってきました。1960 年代の回復期は、スペインの魚介缶詰びん詰産業の中心がマグロ製品になった転換期でもあります。この時期は工業が飛躍的に発展し、人口が増大し、スペイン国内での人口移動により経済が転換期を迎えていました。この時期に缶詰・びん詰産業は拡大した都市部で多くの消費者を獲得し、同時に女性を中心とした多くの労働力をも得たのです。1980 年代には景気後退に見舞われましたが、その後 1990 年代からは再び成長期に入り、缶詰・びん詰産業はスペイン経済を支える重要な要因の一つとしてその存在感を示しています。

2. 魚介缶詰・びん詰産業 国内生産

スペインの魚介保存食品及び非加熱保存食品の総生産量は 2020 年には 359,081 トン、金額で 17 億 5400 万€に達しました。これは前年に比べ生産量で 2%、生産額で 4.8%の増加です。

2020 年、最も生産量が多かったのはツナの缶詰・びん詰です。これは 2019 年に比べ生産量で 2%、生産額で 3%増加し、246,663 トン、10 億 2,897 万 1 千€に達し、全魚介缶詰・びん詰製品の 69%を占めました。次いでイワシとムール貝の缶詰・びん詰が多く、それぞれ前年比でイワシは生産量 1.3%、生産額 4.9%、ムール貝は生産量 2.1%、生産額 11.3%増加しました。イワシ缶詰の生産量は 23,784 トン、生産額 1 億 216 万 6 千€、ムール貝缶詰の生産量は 15,112 トン、生産額 1 億 3,673 万 7 千€に達しました。全体に占める割合は、2020 年の生産量ではイワシ缶詰が 7%、ムール貝缶詰が 4%です。

魚介缶詰・びん詰に関してスペインは間違いなく EU トップの生産国であり、世界でも第 2 位の生産国です。また、国際的に最も多様な形態でこれら製品を商品化できる国でもあり、バラエティ豊かな製品を様々なパッケージで消費者に提供しています。さらに原料となる魚介の種類も豊富です。そうした魚介類のごく一部を挙げれば、イワシ、ガーフィッシュ、サバ、キハダマグロ、カツオ、アンチョビ、ムール貝、ザルガイ、ソウダガツオ、マテガイ、アサリ、小イカ、フランスニシキガイ（ベビーホタテ）などがあります。

スペインの魚介缶詰・びん詰生産量（製品別）

	生産量（MT）			生産額（千€）		
	2019	2020	前年比	2019	2020	前年比
	MT	MT	%	千€	千€	%
イワシ（サーディン）	23,479	23,784	1.3%	100,065	102,166	2.1%
ビンナガマグロ	13,258	13,603	2.6%	127,443	133,177	4.5%
キハダマグロ	226,318	231,071	2.1%	857,494	884,076	3.1%
ツナ野菜ミックス	1,981	1,989	0.4%	11,647	11,717	0.6%
サバ	13,857	13,428	-3.1%	63,509	61,032	-3.9%
ムール貝	14,406	15,112	4.9%	122,854	136,737	11.3%
タコ	733	689	-6.1%	8,269	7,863	-4.9%
イカ、小イカ	6,308	6,346	0.6%	36,625	38,530	5.2%
ザルガイ	5,065	5,227	3.2%	82,412	100,131	21.5%
アサリ	1,311	1,418	8.2%	14,477	17,169	18.6%
マテガイ	786	779	-0.8%	11,809	12,139	2.8%
その他（フランスニシキガイ（ベビーホタテ）、魚卵、練り製品、アジ、ソウダカツオ、タラ、海藻・・・）	31,468	32,350	2.8%	134,986	137,551	1.9%
合計	338,972	345,797	2.0%	1,571,589	1,642,289	4.5%

出典: ANFACO-CECOPESCA 及び業界データ

スペインのアンチョビ非加熱保存食品生産量

	生産量（MT）			生産額（千€）		
	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比
	MT	MT	%	千€	千€	%
アンチョビ	13,140	13,285	1.1%	102,929	112,296	9.1%

出典: ANFACO-CECOPESCA 及び業界データ

3. 魚介缶詰・びん詰産業 輸出（輸出統計と輸出相手国ランキング）

スペイン魚介缶詰・びん詰産業は現在 140 カ国に製品を輸出しており、スペインは世界の輸出国トップ 5 に入っています。これはスペインの魚介缶詰がマーケティングと国際化戦略の展開に成功していることをそのまま表しています。そして 2020 年にはスペイン産魚介缶詰製品は、236,900 トン、金額では 11 億 2,740 万€が輸出されました。

スペインの水産加工品、魚介保存食品（缶詰・びん詰）・非加熱保存食品の輸出量 2019 年－2020 年

	輸出量 (MT)		輸出額 (千€)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
マグロ	120,249	145,037	615,441	738,550
コウイカ、ツツイカ	24,649	24,745	80,631	80,224
その他魚類	13,175	19,134	54,196	55,018
その他貝類	16,990	14,027	53,763	53,153
練り製品	6,919	6,933	19,836	20,999
マグロ赤身	6,141	8,200	34,826	41,848
イワシ	2,487	3,702	12,701	14,945
アンチョビフィレ	3,732	3,173	45,999	45,599
ムール貝	2,812	2,912	14,263	14,953
タコ	3,084	2,632	37,171	34,498
サバ	2,497	2,481	12,379	12,560
その他軟体類	2,057	2,420	9,462	10,452
アサリ、ザルガイ	999	1,457	3,265	4,288
ホタテガイ	152	90	263	335
合計	205,943	236,943	994,196	1,127,422

出典: ANFACO-CECOPESCA 及び 税関データ

主な輸出品目はツナ缶詰で、全輸出量の 59%を占めています。

輸出相手国は主に EU 諸国、中でもフランス、イタリア、ポルトガル、オランダ、ドイツなどです。EU 圏以外でスペイン産の魚介缶詰の主要輸出相手国は米国とモロッコです。

魚介保存食品（缶詰・びん詰）・非加熱食品及び水産加工品の対スペイン輸入国ランキング

2019-2020 年 1 月～12 月

	輸入量			輸入額		
	2020 年 1 月～12 月 MT	2019 年 1 月～12 月 MT	前年比 %	2020 年 1 月～12 月 千€	2019 年 1 月～12 月 千€	前年比 %
フランス	62,881	55,948	12.39%	254,757	228,488	11.50%
イタリア	61,705	57,189	7.90%	327,638	293,018	11.81%
ポルトガル	29,520	25,387	16.28%	121,719	113,994	6.78%
オランダ	24,697	13,170	87.52%	102,313	55,259	85.15%
ドイツ	7,103	8,012	-11.35%	39,926	39,483	1.12%
英国	6,713	7,262	-7.56%	40,095	37,731	6.27%
米国	5,893	5,803	1.55%	45,805	46,831	-2.19%
ベルギー	5,130	3,690	39.00%	18,324	17,750	3.23%
モロッコ	2,468	1,411	74.91%	9,660	4,960	94.76%
チェコ共和国	2,444	2,765	-11.60%	11,446	13,472	-15.04%
ルーマニア	2,075	1,894	9.54%	9,362	9,157	2.24%
スロバキア	1,783	1,478	20.60%	9,254	7,914	16.93%
スウェーデン	1,554	986	57.51%	7,085	3,972	78.37%
ギリシャ	1,518	1,803	-15.83%	5,155	6,420	-19.70%
オーストリア	1,428	1,531	-6.71%	9,279	8,583	8.11%
スイス	1,242	1,116	11.33%	14,015	11,982	16.97%
ポーランド	1,220	1,265	-3.54%	6,996	7,470	-6.35%
スロベニア	1,149	1,001	14.78%	5,868	5,361	9.46%
クロアチア	1,140	1,290	-11.60%	4,798	5,604	-14.38%
トルコ	926	149	519.61%	3,891	856	354.56%
その他	14,353	12,792	12.20%	80,033	75,891	5.46%
合計	236,941	205,943	15.05%	1,127,419	994,196	13.40%

出典: ANFACO-CECOPESCA 及び税関データ

2020 年は魚介缶詰・びん詰の全輸出量の 88%が EU 市場に向けられ、3.9%がアメリカ大陸、2%がアフリカ大陸、またアジアへ向けられたのは全体の 0.4%、オセアニアへは 0.2%でした。

COVID-19 によるコロナ禍の中でも、魚介缶詰企業は海外市場を視野に入れた操業を続け、このような状況下でも必需品とされる製品を市場に供給してきました。そうしたことから、スペインのこれらの製品の輸出は 2019 年と比較して重量ベースで 15%、金額ベースでは 13%増加しました。

国際化はこの業界が行ってきた戦略的投資のひとつで、世界市場における地位を一層高めるために、或いは従来市場における地位を更に強化するため、また全世界におけるプレゼンスを多様化できる新たな市場への道を開くために努力し続けています。

最後に、魚介缶詰・びん詰に関して、スペインと日本との貿易関係に触れておきます。

この分野におけるスペインの対日貿易収支は黒字であることにご注目ください。

2020 年、スペインの日本向け魚介缶詰・びん詰の輸出は 118 トン、金額で 141 万 8 千€でした。最も多く輸出されたのはアンチョビ加工製品、次いでムール貝の加工製品でした。